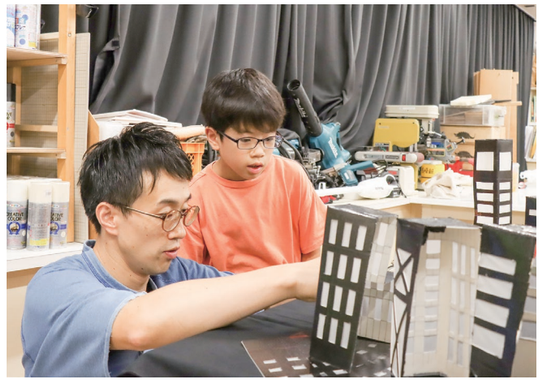
高校生が各施設でお手伝い

― サマーショートボランティア ―

市内の高校生が、児童・福祉施設などで職場体験を行うサマーショートボランティアが、7月30日から8月9日まで行われました。

8月7日、第二保育所に2人の生徒が訪問し、児童たちと屋外で一緒に遊んだり、箸の持ち方教室で保育士の補助をしながら交流を行ったりしていました。ボランティアの大切さを学ぶ良い機会となりました。



夜のビル街で特撮体験

― スマホで簡単特撮体験ワークショップ ―

8月4日、須賀川特撮アーカイブセンターで「スマホで簡単特撮体験ワークショップ」を行い、8人が参加しました。

牛乳パックなどの空き容器を材料に、ビルのミニチュアを製作しました。怪獣のフィギュアをミニチュアセットの中に配置し、光の当て方やリアルに見える角度を家族と相談しながら、思い思いに撮影していました。

司書の仕事を体験してみよう

― こども司書講座 ―

7月27日・28日、中央図書館で「こども司書講座」を行い、9人の小学生が参加しました。

1日目は「図書館を知ろう」をテーマに、本や図書館の歴史、司書の仕事について学び、2日目は「司書の仕事をしてみよう」をテーマに、本の整理や絵本の読み聞かせ体験を行い、司書の仕事を学べる貴重な時間を過ごしました。

輝くすかがわ人

活躍している「すかがわ人」を紹介するコーナー

File.65

岩瀬中出身で落語家の桂幸丸さんを紹介します。昭和49年に桂米丸師匠に入門し、昭和55年に二ツ目に昇進、平成2年に本市初の真打ちに昇進。今年6月に落語家生活50周年を迎えました。古典落語のみならず「幸丸流近代偉人伝シリーズ」などの新作落語も好評です。

Q1　落語家を目指したきっかけは？

高校2年生のときに新人落語コンクールをテレビで見て、大笑いしたことがきっかけです。大学進学のため上京したとき、寄席で見た古典落語の登場人物や情景が目に浮かぶような話芸のすごさに度肝を抜かれ「落語家になろう」と思いました。そんなとき、米丸師匠の新作落語に出会い感銘を受け、弟子入りを決めました。

Q2　落語の魅力は？

落語は江戸時代などの文化や風俗を、笑いの中から知ることができます。また、人情噺・怪談噺・滑稽噺など様々なジャンルがあり、その魅力を気軽に楽しんでください。

Q3　今後の目標は？

いかに皆さんに楽しんでもらえるかを考え、キャリアに甘んじることなく、落語に真摯に向き合い、話芸を磨き続けることです。また「円谷幸吉伝」や「野口英世伝」などの新作落語「幸丸流近代偉人伝シリーズ」を創作し続け、多くの皆さんに笑いを届け続けたいです。

毎年6月に桂幸丸落語会を行い、会場は多くの笑いに包まれます

学校給食 人気メニュー File.10

副菜　「きうり天王祭献立」として、須賀川特産品のきゅうりを使用した地産地消メニューです。　1人分　野菜50g

きゅうりとたくあんのパリパリあえ

1人分の栄養素量　エネルギー 27kcal　たんぱく質0.6g　脂質1.1g
カルシウム25mg　食塩相当量0.6g

主な材料（4人分）

- きゅうり …… 120g
- にんじん …… 40g
- 千切りたくあん …… 40g
- Ⓐ ごま油 …… 小さじ1/2
- Ⓐ 薄口しょうゆ … 小さじ2/3
- Ⓐ 白炒りごま …… 小さじ2

❶きゅうりは輪切り、にんじんは千切りにし、熱湯でさっとゆでて水に取り、水気を絞る。
（きゅうりをゆですぎないのがポイント）
❷漬け汁を絞ったたくあんと①をⒶであえる。

栄養のポイント！
ごま油や炒りごまの風味で薄味でもおいしく食べられます。たくあんの塩気により、しょうゆの量を調整してください。